

猛暑つき市民パレード

「憲法違反ますます明らか」

名古屋市中川区柳島公園で、猛暑の2日午

前、「戦争法案廃案を求め中川区集會」が開催されました。6月からの回目。60人でパレードも行いました。主催は中川地域労働組合センター、新日本婦人の会中川支部、西部民商、日本共産党などです。実行委員

北村淳実行委員長のあいさつ。中川区在住の水野幹男弁護士が「憲法違反がますます明らかになりました。弁護士もがんばりま

す」と発言。江上博之市議が共産党を代表して決意を表明しました。最後に、「憲法違反の戦争法案を必ず廃案にすることを求める決議」を採択し、五女子、尾頭橋へとパレードし

8/1 5/1

大きな反響があり、参加者も元気に尾頭橋交差点までシユプレヒコールしながらパレードしました。実行委員会は、23日午前10時から中川生涯学習会館で学習会を予定しています。

「廃案これから正念場」

区民まつり参加者に訴え

名古屋・瑞穂区



名古屋市瑞穂区で1日、「やめて！戦争法案瑞穂区の会」が「瑞穂区民まつり」の会場前で祭りの参加者らに宣伝しました。15人が参加しました。同会は見崎徳弘さん、土井敏彦さん、水谷映子さんが呼びかけ、6月20日に発足。宣伝で見崎共同代表

らは、「安倍政権は、国民の大きな反対の声にたしるぎ、衆議院で強行採決したものの、私

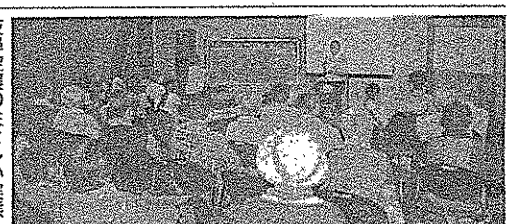
たちの声に追い詰められている。これからが正念場。暑い日が続くが負けずに廃案に追い込もう」と強調。森下東治さんは、戦時中、会場の東にB29爆撃機が墜落したことを紹介し、爆撃機が飛び交う空にはいけないと話しました。宣伝参加者らは戦争法案反対の横断幕を持ち、自由法曹団が作成したチラシを配布しました。祭りには高校生

の参加も多く、チラシを受け取った高校生からは「がんばってください」と声がありました。祭り会場には自衛隊のブースが設置され、73式小型トラックや迷彩服が展示され、自衛官募集のパフレットが置かれました。同会に所属する田中知道さん(瑞穂区平和委員会事務局長)は「平和な市民生活の中で開催されるはずの区民祭りに、自衛隊のPRはふさわしくない」と述べ

採択しました。戦争する国づくりひどい。岐阜空襲70年市内で学習会。70年前の7月9日、約900人の命を瞬時に奪った岐阜空襲の学習会が1日、岐阜市内で行われ、子ども、保護者など40人が参加しました。東日本大震災で岐阜に避難してきた福島の子ども、家族とともに活動してきた「岐阜キッズな

まじ。白井議長は、7年連続の純増を果たし6300人を超える組織人となり大会を迎えたことを報告し、「要求実現・前進に向けたローカルセンターの役割を発揮するために『1万人みえ労連』の早期達成を」と訴えました。「憲法違反の戦争法案」は絶対許さないとの声が高まり、「二点共闘」が大きく広がっている情勢を強調し「確信を持って政

岐阜空襲の生々しい実態を報告する篠崎善樹事務局長1日、岐阜市



しいことだと思った(小5男)、「岐阜空襲でこんな悲惨なことがあったのに、いま国は戦争する国にしようとしてる。政治家や総理は国民ばかり苦しめようとしている。ひどい(小6女)、「小学2年のとき防空壕(ごう)から逃げ出し、川の中でじっとしていた。とても怖かった。戦争のない時代をつくらってほしい(78歳女)などの感想が語られました。

反対の輪が広がっている状況を報告し、安倍政権を追い詰めるための強化を呼びかけました。日本共産党から岡野恵美(県副委員長)が来賓参加し、連帯を表明しました。